

ふるさと祭

ずっと好きです、国見町



▲全員で「ふるさと」を合唱

国 見ルネサンス2017ふるさと祭が6月4日、観月台文化センターで開催されました。ふるさと祭は「ずっと好きです、国見町」をテーマに、町の歴史、伝統、文化を共有し、次世代につなぎ、ふるさと国見町の魅力を再認識する場として、今年で4度目の開催となりました。

くに幼稚園児による元気いっぱいダンスで開幕したふるさと祭。開会式では松浦幹男実行委員会会長が「ふるさと国見町を再認識し、より良いふるさとを築く一歩にしましょう」とあいさつ。続いて、国見町応援大使のみなさんからの心温まる応援ビデオメッセージが上映されました。ステージは「育て、伝える、ふるさとの輪」をテーマに3部構成で行われ、第1部では内谷春日神社太々神楽保存会、鹿島神社太鼓保存会、国見古典鑑賞会が伝統芸能を披露しました。第2部では、町の各文化

団体による多彩なステージが行われ、さまざまな形でふるさとへの想いを表現しました。また、スペシャルゲストステージには平松愛理さんが登場し、数々の名曲を披露して会場を盛り上げ、来場者を魅了しました。第3部では、県北中学校3年の斎藤祥祥さん、町青年農業者の阿部郁さん、町文化団体連絡協議会の鈴木道代さんが復興・再生メッセージを発表しました。ファイナーレでは平松さんとともに全員で「ふるさと」を合唱し、一人一人がふるさと国見町への想いを再確認しました。

▼会場が一体となって盛り上がった平松愛理さんのステージ



▶各文化団体による多彩なステージ



演 歌手で国見町応援大使の市川由紀乃さんが6月24日、道の駅国見あつかしの郷で一日駅長を務め、コンサートをを行いました。

市川さんが「由紀乃太鼓」を歌いながらステージに登場すると満員の会場は大歓声に包まれ、市川さんは「国見町の皆様、ただいま帰りました」と大声援に応えました。



市川由紀乃さん 道の駅国見あつかしの郷 1日駅長&コンサート

国見町応援大使

太田久雄国見町長は「市川さんにはこれまで、私たちの心の元気を取り戻すためにたくさんのご支援をいただきました」と感謝を述べ、市川さんを歓迎。続いて引地真道の駅国見あつかしの郷総支配人から「一日駅長」のタスキが掛けられると、「ずっとしりと重みを感じます」と笑顔で意気込みを語りました。

その後行われたコンサートでは、昨年末のNHK紅白歌合戦出場曲『心かさねて』のほか、現在ヒット中の新曲『はぐれ花』など全5曲を披露し、町内外から駆けつけた大勢の観客を魅了しました。

コンサート終了後、市川さんは道の駅内で「とうもろこし」のタイムセールスも行い、来場者との交流を深めました。

市川さん来場記念 スペシャルメニュー 発売決定!



新メニューを発表する市川さん

この日、ステージでは市川さんが命名した2つのスペシャルメニューを発表。一つは桃のモヒート『国見桃風』。市川さんが「ひとくち飲んだ瞬間に、桃の風味が口いっぱい広がり、『桃の風』を感じた」ことから命名。そしてもう一つが桃を使ったフラペチーノ『市川桃乃♡』。「注文するときに少しでも笑顔になったら、その思いを話してくれました。」

新メニューは
ももたんカフェにて
大好評販売中!



国見の魅力を伝えたい -市川由紀乃さん-



道の駅の一日駅長は初めての経験で嬉しいです。駅長として、ステージとは異なる形でたくさんの方とふれあい、駅長ならではの経験ができました。

道の駅国見あつかしの郷は木の優しい香りに包まれ、「国見」を感じることができる道の駅だと思います。全国からたくさんの方に来ていただいて、『国見桃風』と『市川桃乃♡』を味わってほしいです。

国見町は桃が名産で、自然も豊かな町。そして何よりも、国見町のみなさんの優しさ、温かさに、心が穏やかになります。国見町応援大使として、その魅力を全国に伝えていきたいです。